

冲繩善行手談

島城臨一郎著

三、古賀辰四郎尖閣列島を開發す

古賀辰四郎は古賀門次郎の三男で安政三年一月十八日福岡縣上妻郡山田村に生れた。性質溫良品行方正で夙に海事思想に富み明治十二年本縣に移住した。來縣早々海産物の採集捕獲に従事し一意専心本縣水産業の進歩發達を圖り縣民の福利を増進したこと

は甚だ大である。明治十七年幾多の危険を冒し多額の經費を投じて尖閣列島及び無人島を探檢し産業の有望なるを認識して莫大の資金を投じ二十有餘年苦心經營した。其の成績顯著で、明治四十年の如きは、總價格拾參萬四千圓に達したといふ。明治四十二年十一月二十二日藍授褒章を賜り其の善行を旌表された。(島尻郡修身資料)